

ひがし

広報

しらかわ

No. 241

'55 12 / 20

人口の動き

—11月末住民登録人口から

世帯数	945	世帯
人口	3,764	人
転入	7	人
転出	5	人
出生	1	人
死亡	6	人
先月と比較して	3	人減
昨年と同月と比較して	72	人減

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村

■ 編集 / 総務課 ■ 印刷 / 関市中部印刷



9月から東白川病院で行われていた成人病精密・管理検診は11月末で終わりました。

その結果をもとにした保健指導は各地区で行われ、受診者たちは寒い冬を前に健康への認識を新たにしました。

写真は、保健婦を囲んでの保健指導

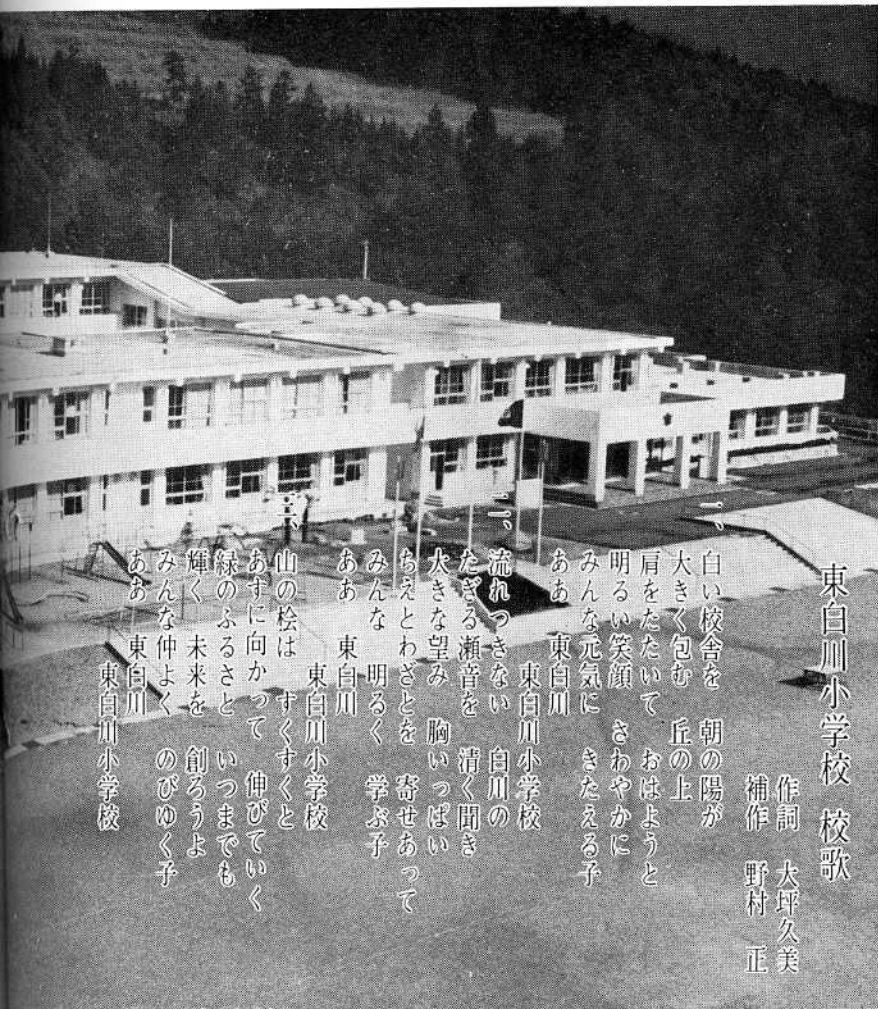
—陰地集会所で

寒い冬
健康で

- おもな内容
- 東白川小学校歌の歌詞 決まる...P2-
 - 成人病予防検診の結果P4-
 - カメラルボ 第1回産業祭...P6-
 - 駅伝大会のもよう...P
 - 青年男女バスケット 全国大会に参加...P
 - 年末年始交通事故防止運動...P
 - 国勢調査の結果...P
 - 貯金箱コンクールで東白川 今井君らが入賞...P
 - 村誌編さん室だより...P
 - トピックス...P
 - けいじ板はP8・9の下欄

東白川小学校歌の歌詞決まる

公募の中から大坪さんの作品に



東白川小学校 校歌

作詞 大坪久美
補作 野村正

白い校舎を 朝の陽が
大きく包む 丘の上
肩をたたいて おはようと
明るい笑顔 さわやかに
みんな元気に きたえる予
ああ 東白川

東白川小学校

流れつさない 白川の
たぎる瀬音を 清く聞き
大きな望み 胸いっぱい
ちえとわざとを 寄せあって
みんな 明るく 学ぶ予
ああ 東白川

東白川小学校

山の松は すぐすくと
あすに向かつて 伸びていく
緑のふるさと いつまでも
輝く 未来を 創るうよ
みんな仲よく のびゆく予
ああ 東白川

東白川小学校

東白川小学校校歌の歌詞がこのほど決まりました。

これは、学校・PTAの代表者ら九人で組織する「東白川小学校・校歌作成委員会」がこの月から進めていたもの。歌詞は公募した十八点の中から平の大坪久美さん(三元・主婦)の作品が選ばれ、委員会で一部補作し完成。今回の発表となったものです。

応募された歌詞18点

委員会で慎重に審査

新しい学び舎の校歌を。との願いから野村小学校長を委員長とする校歌作成委員会がスタートしたのは七月のことです。同委員会では、八月下旬、村内各戸を対象に「校歌詞募集」のチラシを配布

し、広くみなさんからの作品を募集しました。

その結果、締切日の九月末日までに十四人の方から十八点の作品が寄せられました。

委員会では十月から十一月にかけて数回委員会を開催し、それぞれの作品を慎重に審査しました。

なお、より公平に選考するため、作者の氏名はいっさい伏せて行われました。



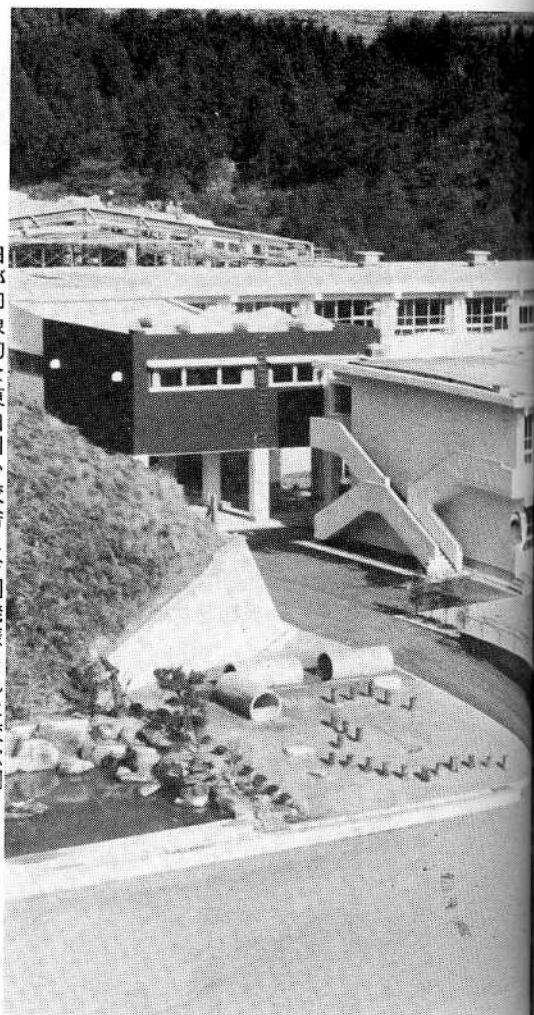
“運がよかった、” と喜びの作詞者

大坪久美さん

＝平＝(39)

十一月二十五日、東白川小学校の野村正校長から採用の吉報を受け「予想もしなかった、運がよかった」と大喜びの大坪久美さん。
この人が東白川小学校校歌の作詞者です。大坪さんは、加子母村の出身でこの村へ嫁いで十一年。現在は小学三年生の女の子と五年生の男の子を持つ母親です。
「新聞折り込みで小学校の歌詞募集を知り、自分の作った詞がこどもたちに長く歌ってもらえたらなあ、と思いました。」と、応募された動機を話してくださいました。

作詞にとりかかれたのは八月下旬、最初に書いた原稿を毎朝何度か読みかえして少しずつなおし、締め切りの九月三十日に完成されました。
詞の中でとくに気を配られたのは、一番から三番までの中に校舎、白川、山など美しい自然環境や学校を思い浮かべることばを盛り込むこと。また、できるだけやさしいことばで――。
ということだそうです。
大坪さんは、詞に曲がつけられ校歌となって来春発表される日が待ち遠しそう。



白が印象的な東白川小校舎と今回発表された校歌詞

応募作品は、いずれもすばらしいものばかりで審査は難航しましたが、最後に残ったのが大坪久美さんの作品です。その後、委員会では大坪さんの作品をもとにさらに学校の教育理念や指標などの点を考え、委員のみなさんの意見を求め、これを委員長がまとめ補作し、詞が完成しました。

やさしい表現で

歌いやすく格調高く

大坪さんの作品には「学校を称揚しこの学校で学ぶこどもたちの夢と希望を描き、未来に大きく伸びようとする力強さと明るさがうたってある」これが採用された理由のひとつです。

また、そのほかの理由について委員会では次のような項目をあげています。

▽ふるさと東白川の美しさと豊かな大自然をうたい、村をいつまでも愛し郷土発展に尽くす人間像をうたったこと。

▽東白川小学校の教育指標である「自啓創造」の教育理念を基調とし、教育目標達成のための知情意体の四本柱

を、一番から三番までの中にうまくまとめたいあげたこと。

▽小学生らしい純真さ、すなおさをやさしいことばで表現し、歌いやすく親しみ深く、しかも格調高くうたいあげたこと。

▽詞末に「ああ東白川、東白川小学校」と繰り返して、学校の栄光とここに学ぶこどもたちの限りないあわせを強調したこと。

作曲は越原先生に

完成は来春二月ころ

こうして、りっぱな歌詞ができあがり、あとは作曲を待つばかりとなりました。作曲は、本村出身の越原一郎先生（名古屋女子大付属中学校長・同高等学校校長）にお願いし、現在作曲を急いでいただいています。

曲の完成は来春二月ころの予定。校歌として発表される日程などはまだ正式に決定されていませんが、第一回の卒業式ころになる見込みです。

また、現在建設中の体育館など一連の事業完了後、俊工式が行われ、その場でひろうされることになっています。

予防検診

下降ぎみ



検診結果を綴った台帳はすべて東白川病院2階のロッカーに納められています

村では、明るい村づくりの一環として、各種の検診活動を進めてきました。ことしは、村民の誓いを制定し、その中にも「健康な体をつくり、明るい家庭を築きます」との一節も盛り込まれました。この健康づくりで、ことし二十二年目を迎えた成人病予防検診は、中でもいちばん大きな事業といえます。住民の健康管理のため、年一度のチャンスを……。との願いからスタートしたこの検診は、今ではすっかり定着しており、高い受診率を誇っています。ことしも岐阜大学衛生学教室、保健所、村の成人病予防推進員ら多くのみなさんのご協力を得て、八月に予防検診を実施しました。本号では、ことしの検診結果をお知らせするとともに、今一度健康づくりをみんなで考えてみたいと思います。

約90%の人が

健康を確認

ことしの成人病予防検診の対象者は、前年度の検診(予防検診・精密検診・管理検診)で異常なしと判定された千六百六十三人で、このうち受診された人は九百五十六人、受診率は五七・五%という結果でした。

受診者のうち九四・七%にあたる九百五人の人が、ことしも異常なしの判定を受け、健康を確認しました。

残りのうち三十六人は「急に血圧が上がった」「どうきを感じる」など異常を認めた

人で、精密検診の対象となりました。そのほかの十五人の人は、治療を受けておられたものです。

この結果からいえることは昨年健康だった人のうち九〇%余りの人がことしも健康を守ったということです。ここに、健康チェックを主眼とした本村の検診の成果があらわれているといえます。

低い働きざかり

の受診割合

ところで、受診率というのものは検診を行う側にとってたいへん気になることです。先に、高い受診率を誇っているとの

べましたが、ことしは五七・五%で昨年の六一・九%をやや下回りました。

図Iは各年度の受診率の推移をみたものです。昭和五十年ころの値は六〇・七%と高い数値を示しており、現在行われている検診が軌道に乗った時期と思われる。ところがここ一二年は下降する傾向がみられます。

原因をさぐるため、男女別年代別の受診率の動向をあらわしたのが図IIです。

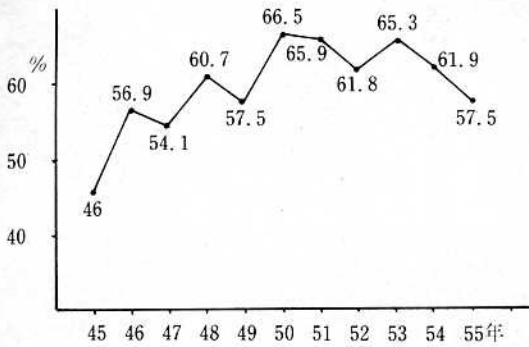
この図によりますと、ここ一二年の受診率が下がっていることがわかりただけだと思います。とくに、男性の三十代、五十代の下がり方



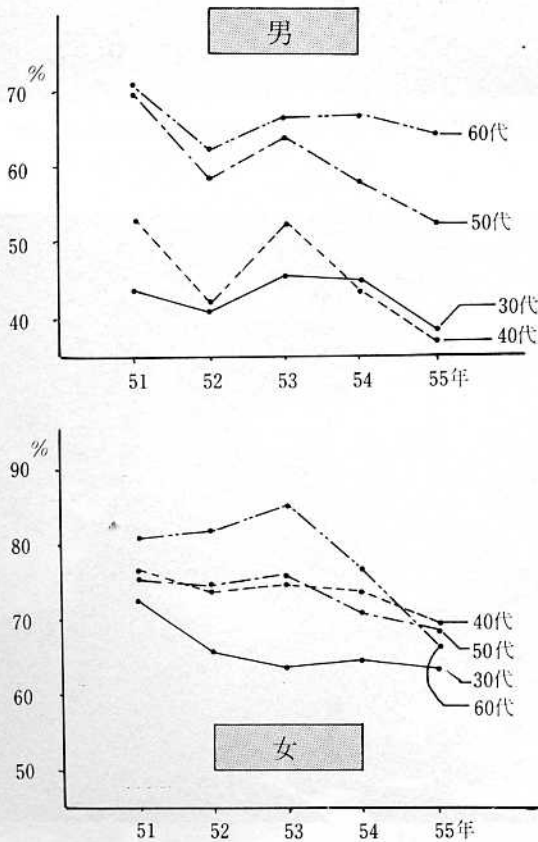
22年目迎えた

受診率はここ1～2年

図Ⅰ 受診率の推移



図Ⅱ 男女別年代別受診率



は大きいようです。一方、女性の受診率は三十代から五十代ではあまり差はみられませんが、六十代の受診率がここ一～二年急激に下がっています。これらのことから、ことしの受診率低下の原因には、男性の受診者、とくに働きがりの三十代、四十代の人たちが受診されなかったことがあげられます。働きがりの人は、職場で検診を受ける機会が多くなってきたため、村の検診を受けないということも考えられます。

最近では、全国的に健康づくりが叫ばれ、ジョギングや軽い体操など自ら健康づくり

健康づくりは 自分自身の手で

す。反面、そうした検診を受ける機会の少ない家庭婦人に受診率の下降傾向がみられるのは問題といえます。六十代の男性が毎年高い受診率を維持しているにもかかわらず、同年代の女性が下降しているのは残念です。

に取組んでいる人が増えていますが、中にはそれが原因で命を落としたというようなこともしばしばあるようです。これは、自分の健康がどんな状態か、どんな運動や生活が健康を保つために必要かを確かめずに行ったことが原因のようです。

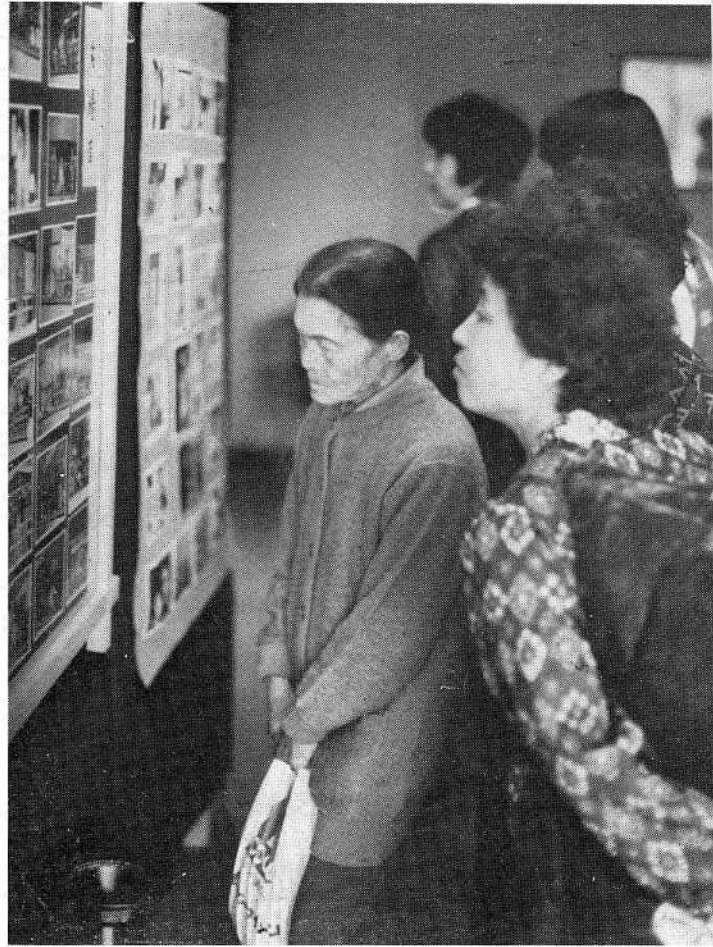
本村で行う検診には▽個人ファイルに受けた年の検診記録がつづられており、健康の変化がわかる。▽予防検診・精密検診・管理検診と、健康の状態に見合った検診を実施

する。などの特徴があり、それぞれの健康状態に応じた保健指導が行われます。いずれにしても、健康を維持し明るく楽しい生活を送るのはあなた自身です。注意されたことを守るか否かはみなさん自身の考え一つでどうにもなりません。そうした意味からも、年に一度の成人病検診を再認識していただき、そのチャンスを見逃さずに利用してほしいものです。

盛大に 第一回 産業祭

カ
メ
ラ
ル
ポ

第一回東白川村産業祭が、十一月二十三日村民センターと役場前広場で盛大に行われました。この催しは、昨年まで農協主催の「農業祭」として行ってきたものを、その輪を広めて村・農協・森林組合・商工会・各種団体が共催で開催したものです。会場では農林商工あらゆる分野の展示と即売コーナーが設けられ大勢の出入でにぎわいました。また、村民センター四階の大集会室では正午から午後四時まで第五回芸能発表会が開かれ、村の文化協会に所属する六団体が日ごらの練習の成果を発表しました。



歌舞伎や商工まつりなどの写真展も行われました
—村民センター4階ロビーで



念入りに品定めする人たち

—村民センター内で行われた農産物品評会で



△大好評だった大きなマグロの切り売り

—役場前広場で

芸能発表会で美声をひろうする
民謡教室生 —村民センター
大集会室で



△優良材の展示も行われました



▽こどもたちには何より“オモチャ”が好評だったようです



無リン洗剤もなかなかの好評
—農協スタンドで

スポーツ

スポーツ

スポーツ

村・駅伝大会

6区9キロを力走

親田・陰地が優勝

本村で初の駅伝大会が十一月三十日に開かれました。

この大会は、スポーツの原点といわれる「走る」ことを広めようと、体育協会が主催したもので、昨年まで行っていた「村民マラソン」にかわ

る行事として注目を集めました。

計画されたコースは、東白川中学校から越原陰地の今田屋商店前までの往復約九キロを六区間に分けて走るといふものです。各区間は短いところ



で約一キロ、長いところでも約二キロと比較的短く、だれでも走れるよう配慮されました。

当日参加したのは高校生、青年、壮年など幅広い年代でチームを組んだ九チーム。それぞれ初優勝をめざして力走しました。

レースは午前十時ちょうどにスタート。中継地点では、次の走者にタスキが引き継がれ、順に送られ棄権する人はひとりもなく、全チームが完走しました。その結果、親田・陰地チームが二十八分三十七秒で優勝しました。

各走者とも走り終わったあとは、さすがに苦しうでしたが、「このくらいの距離ならまだまだ走れる」「来年はもっとチームをたくさん作るう」などの声もでていました。

元氣よくスタートして行く
第一区の走者たち

東白川中学校前で

交安協・JLCC
も競技にひと役

この大会は、県道白川・加子母線をコースに行つたため、安全確保の意味から交通安全協会東白川支部の役員のみなさんが要所で指導にあたられました。また、ジュニアリーダークラブ員らが競技役員として協力するなど、多くのみなさんの協力で無事終了することができました。

今回が初めての試みであるこの大会では、練習期間が短かいなどの問題もありましたが、次回は年齢制限や区間の検討などしてより充実した「だれでも走れる駅伝大会」にしたいと、と体育協会では話しています。

当日の成績

- ①親田・陰地 28分37秒
 - ②西洞・中谷 29分08秒
 - ③平東 29分49秒
 - ④日向 29分59秒
 - ⑤大明神 30分31秒
 - ⑥宮代・下野・久須見 30分55秒
- 敢闘賞 平西 B

戸籍の窓(十一月)

敬称略



誕生おめでとう
ございます。

(大口)古田 伸幸(女) 雄貴
初美(長男)



いつまでも
おしあわせに

- 安江 茂和(陰地)
- 金山 純子(金山町)
- 大蔵 政次(白川町)
- 安江 春己(平)
- 河田 賢司(西洞)
- 佐伯 芳美(白川町)
- 田口 廣美(上親田)
- 柘植 良子(白川町)



おくやみ
申しあげます

- 黒木さつ子 52歳(平)
- 古田 豊一 82歳(久須見)
- 安江さちゑ 53歳(大明神)
- 安江 道江 3歳(上親田)
- 安江 繁一 79歳(平)
- 神戸 千賀 89歳(平)

スポーツ

スポーツ

スポーツ



1・2戦を勝ち進んだ女子チームの試合（対福島県代表）駒沢体育館で

全国青年大会

男女バスケットが参加

女子チームは1・2回戦連破

十一月六日から九日まで東京都で全国青年大会が開かれました。本村から男女バスケットチームが岐阜県代表として参加し健闘しました。

参加した男女両チームの選手たちは、全国各地でよりすぐられた強豪を相手に力いっぱいプレーを展開しました。とくに、女子チームは一回戦福島県代表、二回戦栃木県代表を少差ながら連破しました。

男子は、一回戦で千葉県代表と対戦し、白熱した試合を展開しましたが身長差には勝てず敗れました。

ところで、本村からの全国青年大会出場は、昭和四十一年の男子バレーボール、昭和四十六年の男子バスケットボール、そして今回となるわけですが、男女とも出場できたことは本村のスポーツ振興の

陰地チームに栄冠

村民親ぼく卓球大会

ことして十一回目を迎えた村民親ぼく卓球大会は、十一月二十三日東白川中体育館で行われました。

当日は、団体戦に十三チームが参加。また、個人戦には中学男女、一般男女、四十歳以上男子、卓球部など六つの部門が設けられ、八十三人の選手が参加し熱戦をくり広げました。

当日の成績は次のとおりです。△敬称略▽

定着とレベルの高さを物語っているようです。

今後も練習で得た忍耐力、試合で得た自信と誇りをもって村の後継者のリーダーとして活躍してくれることでしょ。

- 三位 平中チーム
大明神Bチーム

【個人戦】

- △中学男子①安江和範②青木政宏③今井克典
▽中学女子①中山恵②今井美晴③今井美樹
▽一般男子①田口和隆②松岡常好③嶋倉正允
▽一般女子①桂川末子②熊沢きよみ③安江みすず
▽四十歳以上男子①山中眞善
美②桂川耕輔③安江 浩
▽卓球部①安江弘武②今井輝善③山口和久・嶋倉捷司

【団体戦】

- 優勝 陰地チーム
準優勝 大明神Aチーム

【けいしほん】

- 善意の寄付△敬称略▽
(一般寄付)
現金三千円——越原公明
(公民館図書室へ)——図書
室開室からこの十一月まで
次のような多くの図書を寄
付していただきました。掲
載が遅れたことを深くおわ
びしますとともに、厚くお
礼申しあげます。ありがと
うございました。
- 五冊 田口恵津(平)
 - 一冊 牧野紳江(大明神)
 - 一冊 安江啓次(神付)
 - 九冊 田口一枝(平)
 - 四冊 安江好子(陰地)
 - 十三冊 安江と志江(下野)
 - 四冊 田口峰子(平)
 - 二冊 田口誠午(平)
 - 二冊 後藤とよみ(陰地)
 - 六冊 安江節子(平)
 - 十五冊 村雲才吉(中通)
 - 六冊 村雲みい(西洞)
 - 一冊 安江 努(栃山)
 - 四百三十五冊 山田三枝
(愛知県名古屋)
 - 十三冊 安江すみよ(平)
 - 二十冊 安江久子(平)
 - 一冊 森 紀一(多治見市)
 - 二十三冊 田口博(陰地)
 - 三冊 東白川村森林組合
 - 三冊 伊藤美枝(平)
 - 十四冊 今井悟史(神付)

年末年始を無事故で

交通事故防止運動を実施中

現在、交通死亡事故絶減県運動と年末年始交通事故防止運動が行われています。

本来ですと年末年始の運動ですが、ことしに入って交通事故による死亡者が急増しているため、今回死亡事故絶滅運動を行うことになったものです。

この運動はすでに十一月十日から始められており、来春一月十五日まで行われます。

運動者も歩行者も正しい交通ルールやマナーを身につけるとともに、思いやりのある安全な通行に心がけ県民総ぐるみで死亡事故を減らそうというものです。

また、例年実施されている年末年始の運動は、十二月十日から一月十五日までの一か月で、年末年始のあわただしさや交通量の増加、正月気分が予想されるため「無事故で年末、笑顔で年始」をスローガンに行われているもの。

五日から一月十五日までの一か月で、年末年始のあわただしさや交通量の増加、正月気分が予想されるため「無事故で年末、笑顔で年始」をスローガンに行われているもの。

員ら多くのみなさんによる街頭補導やシートベルト着用推進運動が行われます。

とくに、この時期には忘年会や新年会など酒の席が多くなります。酒を飲むときは車を絶対に運転しない。という鉄則を忘れないでほしいものです。

また、朝夕は道路の凍結など交通事故をひき起す原因が多くなってくる時期でもあります。スピードをひかえめにするとともに、万のためヘルメットやシートベルトは必ず着用する習慣を身につけましょう。

交通安全協会東白川支部長から表彰の伝達を受ける安江恵三さん

—村民センターで



安江さんに緑十字銅章

優良運転者の表彰

昭和55年度の優良運転者の表彰伝達式が、11月18日の夜7時から村民センターで行われました。ことしめでたく表彰を受けられたのは、緑十字銅章の安江恵三さんら次の76人のみなさんです。また、長年交通安全協会のために尽力された田口稔さんに感謝状が贈られました。〈敬称略〉

【緑十字銅章】

安江恵三(平)

【県優秀章】多賀吉夫(平) 中島潮己(平)、今井力(平) 安江嘉久一(陰地)

【県優良章】上田捷吾(黒淵) 安江正逸(下親田)、安江貢(宮代)、今井猛夫(柏本)

【県模範章】大口 古田伸幸ほか28人

【地区模範章】大口 今井晴男ほか37人

【交通安全功労章(感謝状)】田口 稔(平)

季節の話題

乳幼児のいる家庭では、ほ乳びんの消毒用の湯を沸かし、消毒後の湯は洗たくに使います。夕方洗たくして台所のすみに干しておく、空気の乾燥防止も兼ねて、夜にはほとんど乾きます。

季節の話題

灯油節約のアイディア
食堂兼台所へ灯油ストーブを置き、朝はその部屋だけ使います。箱型では、上にアルミホイルを敷いてパンを焼いたりお湯を沸かして、次々とポットに入れてお茶や洗いものに使います。

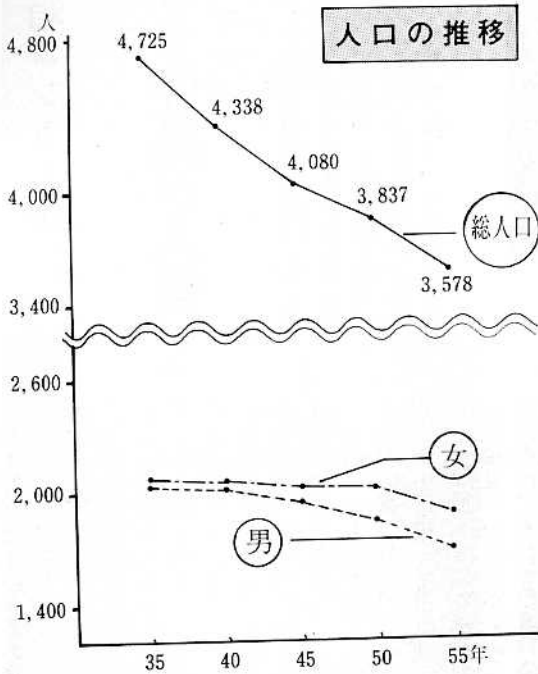
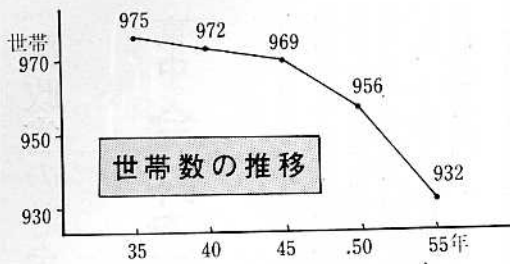
また、コトコト気長に煮るおそうざい作りにも利用し、火のついていない間はフルに使用します。

室温を二十度くらいに保つようにストーブの火を調整します。ストーブの上には必ず二つのヤカンをかけます。一つは加湿用、もう一つは飲みもの用です。

また、シチュー、カレーなどの煮込み料理に、ストーブの火力はもってこいです。大量に作っておいて、残ったものは冷凍保存し次回に使えば手間も燃料も節約できます。

過疎化さらに

国調 前回より7%減少



去る十月一日現在で行われた国勢調査の結果(概数)がまとまりました。
 前回(昭和五十年)の国勢調査と比較してみますと、世帯数は二十四世帯減って九百三十二世帯になっていました。人口も今回は三千五百七十八人で前回より二百五十九人(約七%)減っており、依然として過疎化の傾向が止まらないようです。
 また、この人口の総数を九月末の住民登録人口と比較してみますと、住民登録人口が三千七百七十人ですから国調

人口が百九十二人少なくなっています。
 これは、登録された住所は本村にありながら、実際には村外で暮らしている人(下宿学生や村外に仕事をもつ人)が多いということです。
 ◇
 左のグラフは過去の国勢調査の人口と世帯数の推移を示したものです。世帯数、人口ともに年々減少の一途をたどっていることがはっきりとおわかりいただけると思います。

寒くて長い夜は、フーフー言いながら食べるラーメンが恋しくなります。とくに湯を注ぐだけで食べられるインスタント食品は、続々と発売され重宝がられています。が、ここで栄養価の点からインスタントラーメンを考えてみましょう。

「かけ」とラーメン

- ①塩分を五ヶ合んでいる。
 - ②直射日光にさらされたものや期限切れの古いものは油が酸化する。
 - ③化学調味料を多く含んでいる。
- これらのことから、常食するのはあまりよくありません。

工夫して食べよう

インスタントラーメンの原料は小麦です。小麦にはビタミンB₁が米より多く含まれていますが、残念ながら、残念なことにはラーメンを製造するときにこわされてしまいます。ですから、ラーメンばかり食べているとビタミン不足になり「かけ」になるといわれます。

暮らしと健康



インスタントラーメン

食べなければいけません。よいわけですが、場合によっては必要なときもあります。

そんなときは……▽なるべく新しいものを選ぶ▽野菜や肉・卵など最低一つは加える▽スープは全部使わないで、うす味にする▽スープをできるだけ残す——など、ひと工夫してみてください。

▽次回「寒さと高血圧」を掲載します。

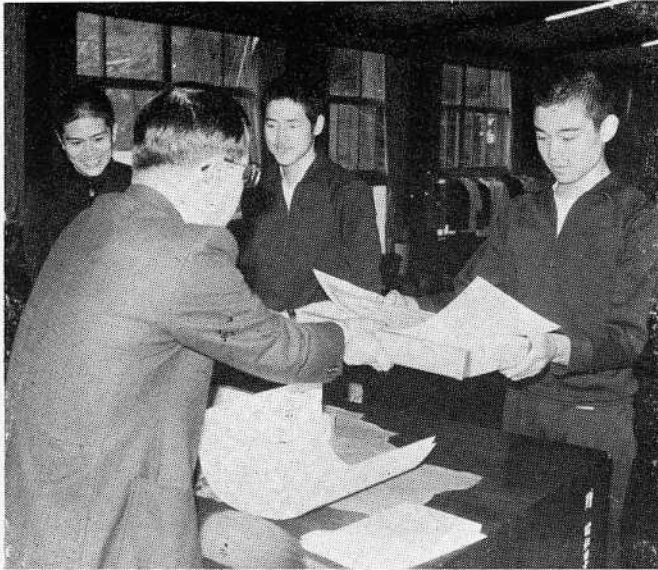
インスタントラーメンは便利なものですが、栄養価のほかにも次のような問題点もあります。

便利さの裏には……

郵政省の貯金箱コンクール

東中 今井君らの作品が入賞

郵政省では、全国の児童・生徒を対象に六月二十七日から九月十三日の間に、楽しいアイデアを生かした貯金箱の募集を行いました。このほど、その作品の優秀作品の発表があり、本村から出品した中学生三人の作品が選ばれ、十二月五日に東白川中学校ホールで、その伝達式が行われました。



東白川郵便局長から表彰の伝達を受ける。左から佐藤・今井・増谷君 ー東白川中ホールで

郵便貯金などの貯蓄の意義と重要性を認識してもらい、貯蓄への関心を高めると同時に造形的な創造力を伸ばす一助にと進められてきた「私のアイデア貯金箱コンクール」もこととして第六回。

募集作品は全国で七十五万点を数え、東海郵政局管内では九万六千余点ありました。本村からも小・中学生から五点の応募があり、そのうち東白川中学校三年生の今井延行君（下野）と増谷弘稔君（久須見）の二人が東海郵政局長賞に、また、佐藤君晴君（陰地）が努力賞に選ばれました。

十二月五日に、東白川中学校ホールで伝達式が行われ、東白川郵便局の服田局長から賞状と記念のアルバムがそれぞれに手渡されました。

◆

今井君らの作品は、いずれも工夫をこらした優秀なものばかりです。入賞した作品は名古屋郵便貯金会館に随時展示されることになっていきます。

これを契機にさらに創造力を高めてほしいものです。

暮らしのカレンダー

※新春バスケットボール大会

- ・とき 1月2日
- ・ところ 東白川中体育館

※新春将棋・囲碁大会

- ・とき 1月3日10時～
- ・ところ 村民センター
- ※小・中学生の部もあります多数ご参加ください。

消防出初式

- ・とき 1月7日
午前9時30分～
- ・ところ 東白川中校庭
- ※全団員のご出動をお願いします。

※不燃物収集

- ・とき 1月13日
- ・ところ 村内各集荷場
- ※ごみはガラス・金物の別に分け前日もよりの集荷場へ。

※成人式

- ・とき 1月15日
午前10時～
- ・ところ 村民センター

※第7回こども会卓球大会

- ・とき 1月18日
午前9時～
- ・ところ 東白川中体育館
- ※小学生が地区ごとにチーム編成し試合します。ご声援を

※栄養教室

- ・とき 1月22日
午前9時～
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 教室生

※ジフテリア予防接種

- ・とき 1月23日
午後1時30分～
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 小学6年生

※母親学級

- ・とき 1月30日
午前9時～
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 6～12カ月児の母親



今井由美子(ゆみこ・10か月)・小百美
(さゆみ・2歳1か月) ちゃん姉妹
西洞 今井芳行・御幸さん長女・二女



今井洋介(ようすけ)くん 11か月
大沢 今井泰博・桃子さん長男

すくすく育て

未来の主役

伝説と民話



—村誌編さん室だより

伝説(その二) 銭岩と子安さま (第一回)

越原大明神に鎮座する子護(こまもり)神社の裏手から登って、付知へ通じる旧道の途中に「銭神」というところがある。ここには、その昔付知郷から柚人がやってきてこの地を拓き住み付いた。

ある夜、彼の夢まくらに女神が現われ「駿河の国は富士の浅間神社に参詣せよ。さすれば必ず幸福が訪れ、子孫繁栄するであろう」とお告げが

あった。

柚人は、さっそく駿河まで赴き、浅間神社の御神符をお迎えして帰り、近くの大きな岩を選んでその上に祀り「子安大明神」と称して信心を怠らなかつた。

やがてこのことが近隣四方に伝わり、御神徳を慕って参詣するもの目を追って多くなり、さい銭が岩の上に山のようになり積み上げられた。そこでこの岩をだれ言うとなく「銭岩」「ぜにいわ」と呼ぶようになり、この地を「銭神」「ぜにがみ」と名付けたとい

さて、この銭岩にはまん中が横一文字に深く割れ目があり、その中に銭形の模様のあるへびがすんでいた。へびの銅体だけを見た者は何人もいたが、不思議なことに頭や尾を見た者はひとりもいなかった。

そして、へびが岩の割れ目に姿を現わすときは必ず凶事が起り、また「もしあやまつてこの神蛇にさわったりすると、たちまちその身に災いがおよぼす」と言い伝えられ、恐れられていた。

(つづく)

▼今月の料理▲



豚肉と里芋の煮物

材料 1人分

豚三枚肉：三百g・里芋：小粒四百g・ねぎ：1/2本・生姜：一かけ・水2~2 1/2杯・油：大さじ二杯・砂糖：大さじ一杯・しょうゆ：大さじ五杯

作り方

- ①豚肉は三枚角に切り、たっぷりの湯で霜降りにし水洗いする。
- ②里芋は皮をむき塩湯で十分間ゆで、水でぬめりを洗いおとす。
- ③ねぎはぶつ切り、生姜は薄切りにする。
- ④厚手なべに肉とねぎ、生姜・水・酒を入れて煮立て、火を弱めて二十分煮、砂糖としょうゆを入れ、ふたをして二十分煮る、里芋を加えて二十分ときどき返しながら静かに煮る。



働く尊さ体験

東中生ら清掃奉仕

11月8日、東白川中学校の生徒たち全員が清掃奉仕を行いました。これは、社会奉仕事業の一環として行ったもので、1年生はごみ拾い、2年生は旧神土小の掃除、3年生はカーブミラーと神田神社の掃除——など手分けして行いました。

生徒たちは机の上の学習とはひと味違った働くことの尊さと喜びを体験したようです。

＝写真＝は神田神社の掃除をする東白川中3年生たち

トピックス トピックス

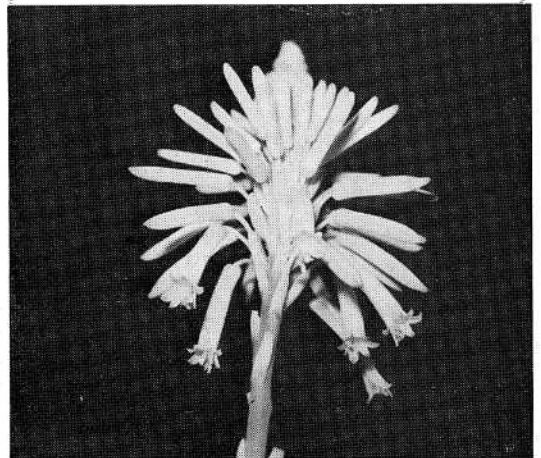
咲いた咲いた アロエの花が

このほど、平の田口武夫さん宅のアロエが3年目に花を咲かせました。

“医者いらず”などの呼び名で親しまれている一見ハリハリのようなアロエが付けた花は、うすいだいだい色。

田口さん宅では「この春に植えかえたら背がぐんぐん伸び花が咲いた」とめずらしそう。

＝写真＝は、めずらしいアロエの花。12月9日、田口さん宅で



あなたの作品をお寄せください
 ・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
 ・毎月末までに神土田口良三宛に出してください

賜物と思ふ日和や歸るさに貫ひし袖子が手提に匂ふ
 短か日を追ふて干し物移しあり夕日傾く軒端に白く
 櫛を入れ目立つ抜毛が気がかりと鏡に見入る朝のひと時
 秋雨のそほ降る中の電線に鳩は尾を垂れ身動きもせず
 梨の木が枯木の如き苔つけて野分の中に小さく突れり
 石垣の百合根は猪にまぬがれて地温ゆたかに太りたりけり
 軒先の竿一ばいの干柿の聯を透かして冬の日まぶし
 哺乳瓶を蛇口の水に打たせつつ預かる孫をもて余し居り
 神無月の川瀬の音に励まされ走る道路に車の忙し
 種芋を囲ふ穴窟る吾が廻り雪蚊舞ひまひ早や暮れんとす
 屋過ぎも日蔭の霜は未だ消えず一万円の消ゆるは速し
 夢に逢ふ君は優しき兵なりきそのかみ吾に歌呉れし人
 年毎に励みし土方八年を去りしこの秋小麦を蒔きぬ
 すくやかに生まれし記念と植えし樹の秀に風鳴れど五三子
 借切りのバスに委ねて歸る村任めば都ぞ灯のうるみ来ぬ
 山の田は大方荒れて猪は里へ出るより致し方なし
 地球のみに在るとふいのち賜はりしこの由々しさを貴び生きむ

下野 安江と志江
 宮代 三戸 ぎり
 宮代 古田 光男
 宮代 今井 米子
 中谷 小池いちの
 中谷 田口かず子
 平 伊藤 重雄
 西野 安江 澄
 平 安江 守平
 神付 早瀬 勇三
 各地 田口 圭二
 師山 安江 幸
 師山 加藤 公一
 大形神 安江 英樹
 大形神 安江 香
 神土 山川 列